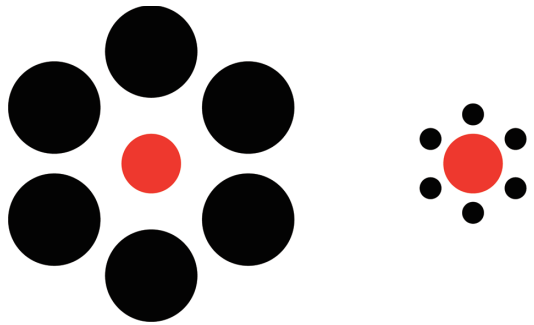


ハトですこんにちは。お気持ちわかります。鳥生活いいですよ。ぼぼーって歩いていると君らゴチサルがパンくずとかくれるしね。いつもご馳走さまです。とは言ってもハトの世界にも勝ち組負け組があるので気をつけねばなりません。伝書鳩？ あれは負けでしょう。知らない土地で放り出されて家に帰るまで自給自足とかわけわからん。近頃はあれです象牙の塔。上面の鳥，下面の猫と申しますが，野外生活はワイルドなわけです。あそこなら雨風も防げるし身を守ってくれる柵もある。大空を自由に飛ぶことはできないかもしれないけど，君らだって三食昼寝つきなら家でゴロゴロでしょ？ せっかく鳥になるなら，ここいら辺を狙ってみてはどうでしょう。

もっとも象牙に住む友鳩によると，あそここのゴチサルはときどきイタズラしてくるのが玉に瑕なんだそうで。小腹が空いたなって時に限ってボタン付きの箱に連れていかれる。それでうまい具合にボタンをつつくと食べ物が出てくるんだけど，まちがえると何もくれない。僕らがパズルを解けなくて困るのをみてゴチサルが喜ぶって寸法なわけ。世の中そこまで甘くはない。働かざるもの食うべからず。

前に聞いたのは大きい丸があったら左，小さい丸だったら右のボタンをつつくってパズルです。それだけならもち簡単ハトなめるなって話なんですけど，途中から丸の周りにぐるっと他の丸が並べられるんですよ。エビハウス（原文ママ）って言うんですが，この周りの丸がまぎらわしいんだよなあ。大きい丸がグルっとしてあるとね，真ん中の丸がどうしたって大きく見えてくるでしょ鳩的に（図左）。それでつい左の「大きい」ボタンをつついちゃうとぶぶー，食べ物もらえませーん。ああ，あのナカムラ（2008）ってゴチサルがまた喜んでる！

こないだはウィット（Witt et al., 2012）ってゴチサルが自分たちでやってました。丸い穴をほって，周りにぐるっと丸を書くの。クチバシ



「左の赤丸の方が大きいと思うでしょうが，実は二つとも同じ大きさなんです！」（ハト談）

ないからボタンをつつけないんで，代わりにボールを使うわけ。穴が大きかったらボールを入れて，小さかったら入れない。手があるのにわざわざ棒でボールをひっぱたいて入れるあたりがゴチサルの意味不明なところだけど気にしない。触ると死ぬとか思ってるんだろうね（注：ゴルフのことらしい）。でも悔しいのが，さすがに自分たちが作ったパズルだけあって，やつら周りに大きい丸が並べてあっても，ちゃんと外すの。僕らハトみたいに真ん中の穴も大きいなんて勘違いはしない。むしろ穴が小さいと勘違いしてるんじゃないかってくらい外しっぷりなんですけど，ハトにはt検定がないから分かりません。しかも近頃，イルカとかヒヨコの成績がゴチサル並みって噂があってハトのプライドはずたずたですよ。まあしかし，空も飛べないイルカやヒヨコにエビパズル解いたくらいでドヤ顔されてもね。やっぱりなるならハトでしょう。待ってます！（注：ハトの言いたいことが判然としなかったので Nakamura et al., 2008 を参照したところ，ハトにはエビングハウス錯視が逆に見えるようである。）



Profile — 平石 界

東京大学大学院総合文化研究科博士課程退学。東京大学助手・助教，京都大学助教を経て，2012年4月より現職。博士（学術）。専門は進化心理学。